

デザイン仕様書

■内容

現代の居住環境に調和する「家具調仏壇」のデザイン

■基本コンセプト

外装と内装のデザイン性を高めた家具調仏壇の開発

従来、お仏壇と言えば「金仏壇」※¹や「唐木仏壇」※²が一般的であった。しかし、近年の居住環境の変化（住宅規模の縮小、居住様式の多様化、洋風化等）により都市部を中心に「家具調仏壇」（下写真参考）の需要が急速に増加している。家具調仏壇は、都市部の住宅のリビング空間や洋間などのインテリアにも調和するように設計されており、需要の拡大によって安価な海外製品が高いシェアを占めているが、高品質で付加価値の高い国産の家具調仏壇への顧客の要望も根強い。

弊社では、長年の婚礼家具の製造で培った技術を活かした高品質の家具調仏壇の開発・製造を行っている。外装については、切削加工や彫刻加工を施した前扉等の形状に特徴があるが、これらは他の自社製品から派生したものである。また、前扉を開けた内装においても、仏具を置く棚の構成やデザイン、照明の配置等は既に市場にある一般的な家具調仏壇と同様の造りとなっている。このように、内外装のデザインとも他社製品と明確な差別化ができるデザインとはなっていない。そこで、本事業ではデザイン性と品質を高い次元で両立させた「上置きタイプ」（チェストやミドルボード等の天板に設置するタイプ）の家具調仏壇の開発を行う。

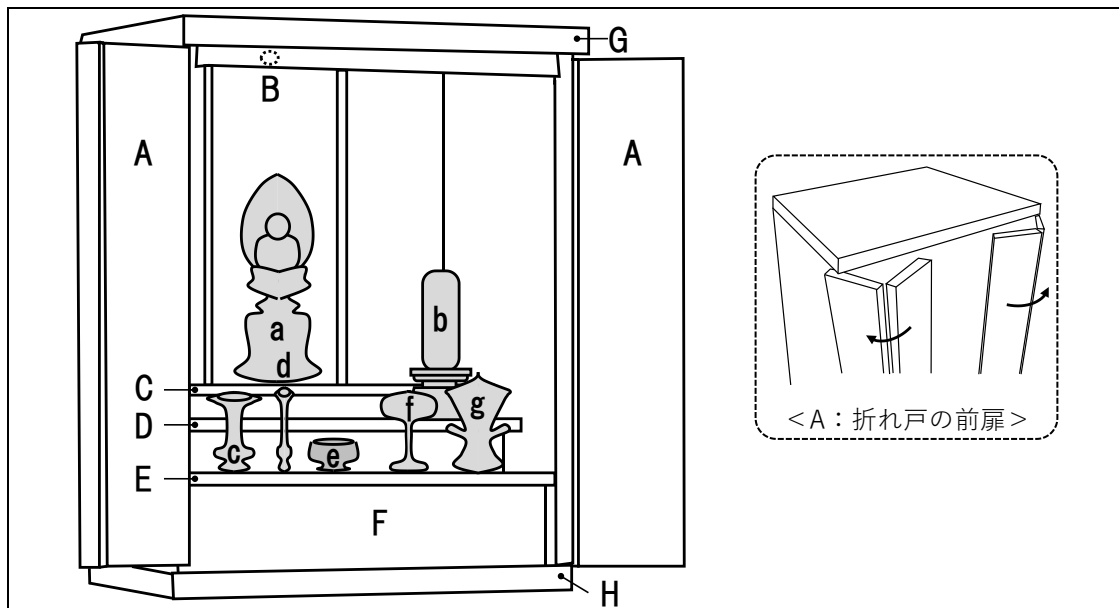


弊社の家具調仏壇（上置きタイプ）のサイズ

■具体的な仕様

家具調仏壇の構成と機能

家具調仏壇の基本的な構成や装飾、置かれる仏具については以下の通りである。本事業で開発する家具調仏壇も、基本的には以下の構成を取り入れたものとするが、内装や外装のデザインについてはデザイン事業者オリジナリティのあるデザインを求めたい。



家具調仏壇（上置きタイプ）の各部の名称と、一般的な仏具の置き方

<家具調仏壇を構成する各部の名称と役割>

- A 前扉：折れ戸になっており、狭い空間に設置しても扉を開けられる。また、開けた時も閉じた時もインテリアに調和するデザインとなっている
- B 照明：内装を照らすもので、LED照明が使われるものが多い
- C 須弥壇（しゅみだん）：仏具の中で最も高い位置に置く御本尊を置く台
- D 位牌壇：位牌を置く台
- E 膳引き（ぜんひき）：仏具を置く台で、スライド式となっているものが多い
- F 収納：お線香やマッチなど、道具を収納する場所
- G 上台輪（かみだいわ）：側板や背板を上でまとめ、前方は扉の戸当たりがある
- H 下台輪（しもだいわ）：土台となる部分

<仏具の名称と役割>

- a 御本尊：宗教の進行対象物となる仏像
 - b 位牌：故人の戒名等が書かれた木札
 - c 花立（はなたて）：花をお供えするための花瓶
 - d 灯立（ひたて）：ローソクを立てるための器
 - e 香炉（こうろ）：香を焚いてお供えするための器
 - f 仏器（ぶつき）：ご飯などを供えるための器
 - g 茶器（ちゃき）：お茶や水を供えるための器
- ※c, d, e は三具足（みつぐそく）と呼ばれ、宗派に限らず飾られる基本的な仏具となる

1. 内装デザインについての仕様

- ・地域や宗派等により本尊や仏具のサイズが異なるため、内装のサイズや須弥壇等の構成、デザインに対してのニーズが分散する。よって、様々なニーズに対応できるような内装の構成・デザインとし、内装や仏具を照らす照明を備えること。

2. 外装デザインについての仕様

- ・前扉は折れ戸を用いた観音開きタイプとする。
- ・仏壇の前扉を閉じた状態、開いた状態いずれにおいても、リビングや寝室等の洋間のインテリアに調和する違和感のないデザインとする。
- ・弊社が得意とする切削加工や彫刻加工等を活かしたデザインとする。
- ・使用する材料はウォルナット材やオーク材等、リビングや寝室に置かれている家具に主に用いられている材料とする。

■ターゲット・販売戦略

【ターゲット】

- ・都心部やマンションに住む居住空間に限りのあるお客様
- ・仏間のない住宅環境に住むお客様
- ・家具調仏壇の中でも、国産で高品質なものに拘りをもたれるお客様
- ・既存家具のデザインと調和の取れた空間を求められるお客様

【販売戦略】

本事業で開発した製品は 2021 年 4 月開催予定の仏壇小売店を対象とした展示会に出展予定である。販売先は仏壇店・仏壇卸（BtoB）を想定している。

■デザインに対する考え方とデザイン事業者への要望

【丸田木工の紹介】

弊社は、昭和 33 年創業以来、布団等の寝具を収納する夜具入れ家具の製造に始まり、鎌倉彫収納家具や高級婚礼家具といった箱物収納の製造を長年行ってきた。高級婚礼家具は、厚みのある無垢材を用いた扉や引き出しの前板の表面に対して、切削加工や彫刻加工を施して意匠に特徴を持たせている点に特徴があり、弊社の製品においても、カッター刃を使った切削加工や彫刻加工等の表面加工技術を生かしたデザインが大きな強みとなっている。他にも、箱物家具の引き出しの製造において伝統的な技法である「蟻組み」は大変な手間と技術が必要であるが、高品質な箱物家具を提供したいという思いから継続している。これらの加工技術は、婚礼家具需要の減少に伴い婚礼家具メーカーが少なくなった現在において、貴重な技術やノウハウとなっている。また、企画・開発～木取～加工～組立～塗装に至る一連の家具製造の工程を全て自社工場にて行っており、現在は洋服タンス、チェスト、TV ボード、家具調仏壇等が主力製品（下写真参考）となっている。



【洋服タンスPlum】
前板に広葉樹の無垢材を採用



【クローゼット収納チェスト Fit】

弊社の既存製品（洋服タンス、チェスト）



【TVボード Bonny】
前板に広葉樹の無垢材を採用



【チェスト、TVボード Cald】
前板に広葉樹の無垢材を採用

弊社の既存製品（TVボード、チェスト）

【デザイナーへの要望】

以下に示す弊社の技術や特徴を活かした、現在の居住空間に調和する家具調仏壇のデザインをお願いしたい。

○家具調仏壇の製造において活用できる弊社の技術とその特徴

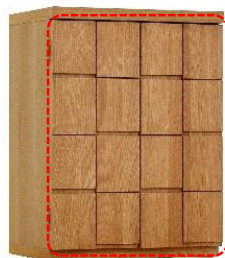
- ・ 切削加工：NC 加工機を用いて、扉の前板や上台輪、下台輪等の各部を、自由曲面など任意の形状に加工し、意匠に特徴を持たせることができる。
- ・ 彫刻加工：扉の前板や上台輪、下台輪等の各部を、任意の彫刻加工を施し、意匠に特徴を持たせることができる。
- ・ 引き出しの伝統的な技法の「蟻組み」：強度の確保と見た目の美しさが両立できる。



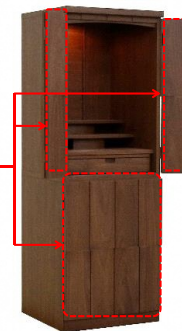
切削加工を施した前板



彫刻加工を施した前板



家具調仏壇（上置きタイプ）
（前扉を閉じた状態）



家具調仏壇（台付きタイプ）
（前扉を開けた状態）

扉表面への切削加工

弊社の加工技術が施された収納家具

